

## 法人プログラム（ルアナ）について

大塚りとするぱんぷきんずの園庭にはたくさんの植物が植えられています。今回は、なぜ保育の中に植物が取り入れられているのか？なぜ植物がお部屋にあふれ身近にあるのか？を、紹介します。

植物を使って活動することを、法人独自の呼び方で「ルアナ」と呼んでいます。

ルアナとはハワイ語で【みんなで一緒にリラックスして満足しよう】という意味があり、地域や職員、子ども達全員が植物と触れ合いながら、リラックス感を得られることを目的にこの活動が始まりました。

### 菜園活動

水やりや、水替え、葉っぱのホコリ拭きなどのお世話を通して生長の過程や変化を体験します。例えば葉水（霧吹きで葉っぱに水をかけること）のやり方と共に“葉っぱには、たくさんの口がある”ことを伝えました。すると「喉が渇くから葉っぱにもお水をあげようね」と子どもが自ら水をやってくれます。“逆に水のあげ過ぎはお腹が痛くなるよ。土が乾いたらお腹がすいているサイン”など、子どもにも身近でわかりやすい表現で伝えることで子ども達も理解し、積極的にお世話を行っています。思いやりやお世話することの責任感も身につけていきますし、園内にある植物は子ども達のお蔭で生き生きと育ってきています。



### 園庭の植物たち

園庭ではローズマリーやミントバジル、レモンバーム、赤しそ等、多くのハーブが植えられています。香りを楽しむだけでなくハーブ水を使って水遊びをしたり、教具に取り入れたり植物を身近に感じる機会がたくさんあります。また、香りで癒される等、保育園という身近な所で植物を使うことが日常的に楽しめることも伝えています。

### ルアナの活動

大切に育てたハーブや花を使って生け花やスワッグ作り、クリスマスリース、ポプリ作り、卒園式のコサージュなどを作っています。植物を使った表現は、子ども達のお気に入りの活動の一つです。各自の感性で作られた作品はどれもアーティスティック。自分の思いのまま表現できる活動をすることで、他者を認める気持ちや自分への自信に繋がっていきます。



このようにルアナや菜園活動を通して植物に興味を持ってきた子ども達。今は園庭で遊ぶ時に雑草取りも行っています。どれが雑草で、どれがハーブで花なのか、初めはわからず職員に確認しながらですが、繰り返し伝えると、「先生これだよね！」と自ら気づいて、他の子にも教えてくれます。植物に関わることで愛着が湧き、子どもの心がより成長する機会となっています。これから植物の持つパワーを受け取りながらこの活動を展開させていきたいです。 進藤真衣